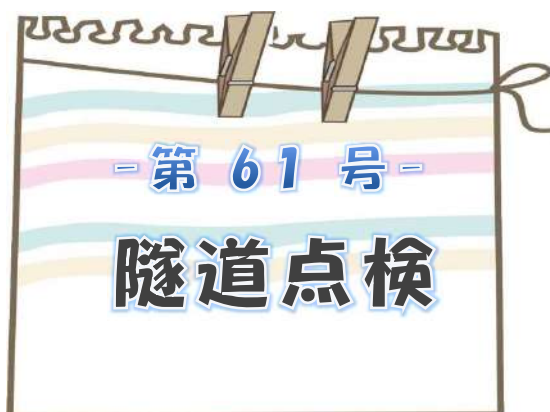


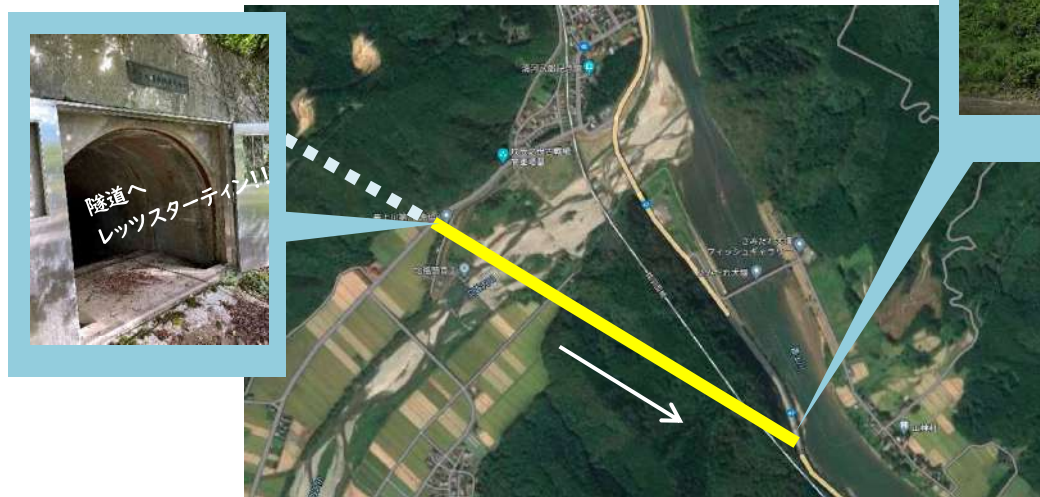
# もがみがわ 情報局



灌漑期間が終わり、隧道内の点検を行いました。最上郡戸沢村大字古口地内の最上川取水口は、昭和38年度に造成され、国営最上川下流沿岸農業水利事業で平成19年度に改修されました。最上川から取水した水は取水口から隧道を通り、約5,600haの水田へ配水されます。今回は北楯頭首工の斜坑から入り取水口まで行ってきました。



- 最上川取水口 -



斜坑から隧道に入っていくと深さ20センチ程の水が溜っていました。



隧道の形が丸から四角に変わります。



中に入ると所々に土砂があるものの、事前に施設管理員さんたちが土砂の撤去をしてくれたおかげで思いのほか歩きやすくなっていました。水の中には魚や小さい蟹が沢山いました。近年は小学生の隧道探索を実施していませんでしたが、改良区の仕事や農業について少しでも興味を持ってもらえるように今後も情報発信をしていきたいです。